

ぱれんと

2019
vol.
40

八王子市男女共同参画都市宣言

わたくしたちは、人がひととして尊重され、いきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざし、ここに八王子市を「男女共同参画都市」とすることを宣言します。

1. わたくしたちは、男女がお互いに尊重し合えるまちをつくります。
1. わたくしたちは、あらゆる分野に男女が平等に参画できるまちをつくります。
1. わたくしたちは、家庭・地域・職場で男女がともに責任をにない、いきいきと働けるまちをつくります。
1. わたくしたちは、男女がともに健康で安心して生活できるまちをつくります。

平成11年12月6日

八王子市

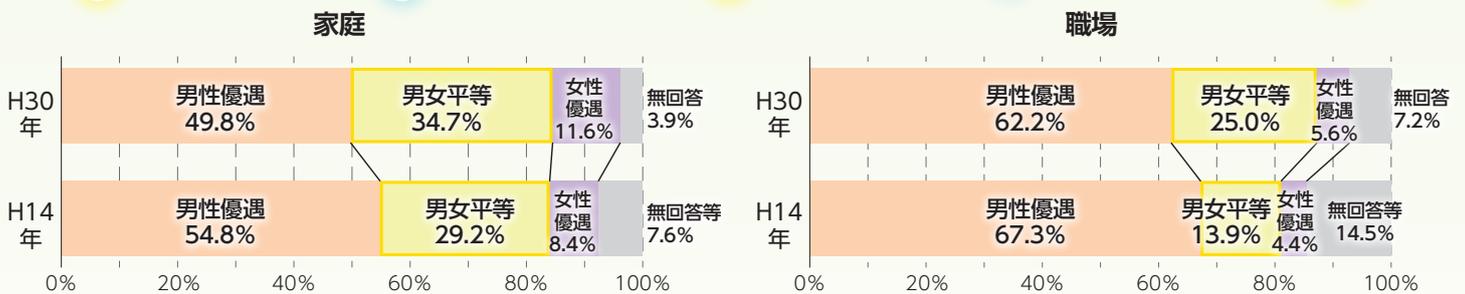
**八王子市
男女共同参画都市宣言から20年**

八王子市は、性別や年齢にかかわらず、人がひととして尊重され、いきいきと暮らせるまちを目指して、平成11年（1999年）12月に「男女共同参画都市」であることを宣言しました。

市では、「男女が共に生きるまち八王子プラン」に基づき、男女共同参画に対する理解や認識を深めるためのさまざまな施策に取り組んできました。

わたしたちの意識はどのように変わってきたのでしょうか。

市民の男女平等意識の変化

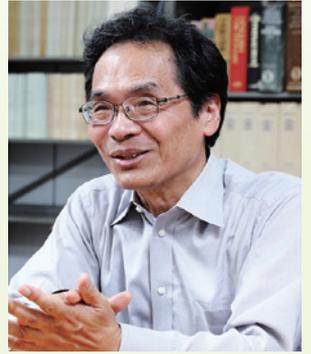


八王子市「市政世論調査報告書」(第34回・平成14年)、同「男女共同参画に関する市民意識・実態調査報告書」(平成30年3月)を参考に作成

平成14年(2002年)から平成30年(2018年)までの間で、「家庭」における男女の地位が「平等」だと感じる人は5.5%増加しました。また、「職場」における男女の地位が「平等」だと感じる人も11.1%増加しました。

「男性は仕事、女性は家庭」という性別による固定的な役割分担意識によらず、家庭も仕事もともに支えあう意識が高まってきています。

社会の構造を変えるためには、もっと声を上げよう



中央大学法学部教授
広岡 守穂
ひろおか・もりほ

専門は政治学。政治分野だけでなく、男女共同参画などの社会問題にも関心を持ち、研究・提言を行う。八王子市男女共同参画施策推進委員、内閣府男女共同参画会議監視専門調査会委員等を歴任。「男だって子育て」「ジェンダーと自己実現」等著書多数。

男女共同参画社会の実現に向けて、平成16年から23年まで八王子市男女共同参画施策推進委員を務めた広岡守穂さんに、社会の変化と課題について伺いました。

◆男女が共に担う時代へ

20年前と比べると、社会は変わったと感じている人も多いと思います。若い世代では、女性も経済を担い、男性も家事・育児を担うことが当たり前になってきています。親世代との違いを一番感じている点ではないでしょうか。

妻の役目とされてきた介護においても、自分の親の介護を担う男性も増えてきました。振り返ると、高度経済成長期に企業戦士として働いてきた男性は、「男性は仕事、女性は家庭」と、仕事本位で生きてきました。そのため、本格的に子育てにかかわった経験も、家事の経験も乏しく、定年後に生活的自立の大切さを実感された方も多いと思います。

近年、固定的性別役割分業を否定する人が上回っています。仕事・子育て・介護など、人が生きていくうえで必要なことは男女がともに支え合わなければならないという意識へと変わってきています。

◆法整備が進んだもの

一方、男女共同参画社会基本法の施行以降、配

◆6歳未満の子どもを持つ夫婦の1日あたりの家事・育児関連時間



総務省「社会生活基本調査」(平成28年)より作成

それには、まずは女性をはじめ多くの人がもっと声を上げていきましょう。若い世代もおとなしすぎます。社会を築くのも変えるのも私たちです。一人ひとりが個として自立した先に男女共同参画社会の実現があるのです。

◆もっと声を上げよう

自治体に求められることの一つは、男女共同参画推進条例の制定です。基本法の施行以降、新たな課題が次々とあらわれています。今後はSOGI(ソジ)を視野に入れることが求められます。女性の活躍推進においては、企業の取組を促す仕組みを条例で根拠づけることが有効です。例えば、事業所における女性管理職の割合を調査・報告させるような仕組みもその一つです。

※SOGI(Sexual Orientation and Gender Identity)とは、「性的指向(自分の恋愛感情や性的な関心が向かう相手の性別)」と「性自認(自分が認識している自身の性別)」の英訳のアルファベットの頭文字をとった略称です。

ジェンダー・ギャップ指数にみる日本の現状

ジェンダー・ギャップ指数とは、性別の違いにより生じる様々な格差を示す指標のことです。スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」(World Economic Forum)が毎年公表しています。この指数は、「経済」、「教育」、「保健」、「政治」の4つの分野で分析し算出されたもので、「0」に近づくほど不平等、「1」に近づくほど平等であることを意味します。

日本の順位は、149か国中110位(2018年)です。分野ごとの順位をみると、「経済」・「政治」分野において低い状況にあります。これは、管理職や専門職・技術職の男女比や、国会議員の男女比に大きな偏りがあることなどが要因となっています。

◆ジェンダーギャップ指数 上位国と日本の順位

順位	国名	値
1	アイスランド	0.858
2	ノルウェー	0.835
3	スウェーデン	0.822
4	フィンランド	0.821
5	ニカラグア	0.809
⋮	⋮	
110	日本	0.662

◆分野ごとの日本の順位

分野	順位	値
経済	117位	0.595
教育	65位	0.994
保健	41位	0.979
政治	125位	0.081

世界経済フォーラム「The Global Gender Gap Report 2018」より作成

地域の暮らしに目を向け、視野を広げていくことが大切です



八王子市副市長
木内 基容子
きうち・きよこ

1982年八王子市役所入庁。市史編さん室長、総合経営部長、都市戦略部長、産業振興部長等を歴任。2018年4月より現職。(東京都26市において市職員出身で初の女性副市長)

八王子市役所で女性管理職としても活躍されてきた木内基容子副市長に職員時代の経験を交えてお話を伺いました。

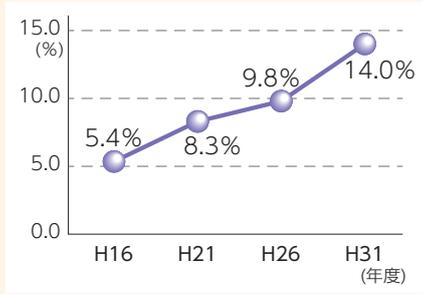
◆市役所内はどう変わってきたか

私が入庁した当時は男女雇用機会均等法施行前で、女性職員は一人だけという職場がほとんど。庶務とお茶汲みは女性の仕事、「〇〇課の女の子」といえば誰のことかわかる、という時代でした。八王子市は平成11年(1999年)に「男女が共に生きるまち八王子プラン」を策定し、男女共同参画都市を宣言、同15年(2003年)には男女共同参画センターができました。市役所内の職場の状況も大きく変わってきたと思います。

現在では新規採用職員の男女比はほぼ同じですし、管理職に占める女性の割合も上昇してきています。市議会でも

女性議員が増え、任期中の出産を理由とした休みも認められるようになりました。若い世代にとつて男女平等は当たり前、仕事の中で性別を意識することは、ほとんどなくなつて

◆市の管理職に占める女性の割合



いるのではないでしょうか。

これまで私が仕事を続けてきた中で、管理職として道を切り開いてくれた女性の先輩職員がいたことは心強く、励まされました。市では女性管理職割合30%を目標にしていますが、まだ14%。女性職員が積極的にキャリアアップにチャレンジしてくれると嬉しいですね。

◆ワーク・ライフ・バランスが仕事の幅を広げる

最近は働き方が見直され、ワーク・ライフ・バランスが求められています。職員も、仕事を離れて一市民として地域で活動したり、家族や友人と過ごす時間を大切にすることで、視野が広がり、社会人としての成熟につながります。

誰もが暮らしやすい社会を目指すには、生活者の視点が欠かせません。地域の声を直接聞いたり、社会のニーズを肌で感じるのが、職員としての仕事の幅を広げ、モチベーションもアップします。

私自身は正直なところ、職員時代は遅くまで残業していましたが、副市長になってからは、意識して遅くとも18時には帰るように心掛けています。30年来続けているポウリングは、健康維持のためにも今も週1回のリーグ戦を楽しんでいますし、週末は映画観賞で気分転換を図っています。見る映画のジャンルは様々ですが、自分が知らない世界を知る貴重な機会にもなっています。

◆男女共同参画社会の実現に向けて

男女共同参画は前進しているとはいえ、国際的にみれば日本はまだ遅れをとっています。子どもの虐待や貧困といった問題の背景には、子育てや介護の負担を抱えての孤立化や、配偶者等からの暴力など、根深い性別役割分担意識に基づく社会的な課題が潜んでいます。市民の皆さんと行政が力を合わせて、誰もが安心して暮らせる地域社会の実現を目指していきたいと思っています。

「男女が共に生きるまち八王子プラン(第3次)」について

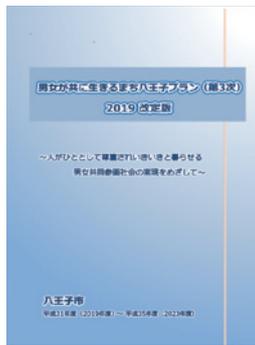
本市は第3次プランに基づき、男女共同参画社会の実現に向けた総合的な取組を行っています。男女共同参画施策の推進について、皆様のご意見を随時受け付けておりますので、ご意見は直接、電話、ファックス、またはEメールで男女共同参画センターへ。

平成30年度(2018年度)評価報告書の作成

第3次プランに掲げている61の取組の進捗状況等を評価した報告書を作成しました。

第3次プラン(2019改定版)を策定

第3次プランの後期5か年に向けた中間見直しを行い、平成31年(2019年)3月に「男女が共に生きるまち八王子プラン(第3次) 2019改定版」を策定しました。



第3次プラン(2019改定版)は、男女共同参画センターや図書館、市のホームページなどでご覧になれます

住民票、印鑑登録証明書などに旧氏(旧姓)併記が可能に

令和元年(2019年)11月5日から、婚姻等で氏に変更があった場合、旧氏を住民票、印鑑登録証明書、マイナンバーカードに記載できるようになりました。

お問い合わせは市民課 ☎6200-7232 へ。

令和2年
2/22
(土)

男女共同参画都市宣言20周年記念事業 第29回 女と男のいきいきフォーラム八王子

会場 八王子市クリエイトホール(八王子市東町5-6) 入場無料 託児あり

講演会・パネルディスカッション

講演 息子3人、アナウンサーパパの子育て奮闘記



【撮影：八田政女】

講師 笠井 信輔さん
(フリーアナウンサー)

時間 14:00~16:00

会場 5階 ホール

定員 170名

手話通訳あり

【講師プロフィール】

早稲田大学卒業。1987年4月にフジテレビアナウンサーとして入社。「タイム3」をはじめとしたワイドショーや、「今夜は好奇心」「ザ・ウィーク」「めざましテレビ」といった情報番組を担当後、夕方6時のニュース番組「ザ・ヒューマン」のキャスターを務め、「ナイスデイ」の司会を経て、「とくダネ!」のキャスターを20年務める。

2019年9月フジテレビ退社。現在はフリーアナウンサーとして、さらに仕事の幅を広げている。

企画講座

働き方を賢く選ぶための、社会保険とお金のトリセツ

講師 櫻井 三樹子さん(特定社会保険労務士)
太矢 香苗さん(ファイナンシャルプランナー)

時間 10:00~12:00 定員 25名

対象 これから働きたい(就職・復職・転職したい)と考えている女性

パパと一緒にソーセージ作り

講師 原 俊之さん(燻製工房グーテ店主)

時間 10:00~13:00

費用 1組1,500円 定員 12組

対象 5歳~小学6年生のお子さんとその父親(2人1組)

お申込み・お問い合わせ

男女共同参画センター TEL: 042-648-2230

1月15日(水)から申込み受付開始

男女共同参画センター の紹介

男女共同参画センターでは、各種講座の開催、女性のための相談、ほっとタイムサービスなどを行っています。

開館時間

月~土曜日 9:00~19:00

日曜日、祝・休日 9:00~17:00

休館日 年末年始(12/29~1/3)、
原則・毎月第1火曜日(館内点検日)

女性のための相談

夫婦・家族間の不和・もめ事の悩み、生き方や人間関係、交際相手との悩みなど、女性の人権に関わることについて女性相談員が対応します。

相談専用電話

TEL 042-648-2234

月~土曜日 9:00~19:00

日曜日、祝・休日 9:00~17:00

※年末年始を除く

専門相談 ※要予約

女性のための相談、カウンセリング、
弁護士相談

LGBT電話相談

自分の性や性的指向に伴う相談をはじめ、さまざまな相談に応じます。本人、家族、友人、教員など、どなたでも相談できます。

TEL 042-648-2238

奇数月の第4水曜日 15:30~18:30

ほっとタイムサービス

学習支援・求職支援のための託児サービス(無料)です。

※事前登録必要・要予約

TEL 042-648-2230

八王子市の附属機関等への女性の参画状況

附属機関等とは、市の政策や企画の立案過程において、専門的な知識や市民の皆さんの幅広いご意見を反映させることを目的とした機関・会議です。

本市の平成30年度(2018年度)における女性の参画率は33.1%で、より一層の強化が必要です。附属機関等への女性の登用について積極的に働きかけるなど、取組を進めていきます。

女性の声を市政に活かすため、女性の登用にご協力ください。

女性参画状況推移

年度	附属機関等数	うち女性がいる附属機関等	委員等総数(人)	うち女性数(人)	女性の参画率
28	131	105	2,035	669	32.9%
29	133	108	2,030	686	33.8%
30	134	104	1,979	655	33.1%

民間団体によるDV相談窓口 配偶者や恋人からの暴力に悩んでいませんか?

団体名	形式・費用	日時	連絡先
DVホットライン八王子	電話相談・無料(女性専用)	月曜日 9:00~12:00	TEL 042-626-8258
よりそいホットライン	電話相談・無料(女性専用)	24時間(ガイダンス後3番を選択)	TEL 0120-279-338
いっぽの会	女性同士の語り合い・1回200円	第1・3金曜日 13:30~15:30	TEL 090-6338-4391 TEL 090-7408-1372
れんこんの会	女性同士の語り合い・無料	第2土曜日 14:00~16:00 第4木曜日 10:00~12:00	TEL 080-5039-9374